

令和4年12月26日

宗谷農業改良普及センター

## 停電解消時の技術対策

### • 搾乳を中止していた影響について

最終搾乳後、搾乳再開まで48時間以上経過すると、乳汁分泌が停止している場合があります。停電前の配合飼料給与量と同量とはせず、乳牛の食い込みと乳量を確認しながら、乳量に合わせた給与内容としましょう。

### • 乳牛の状態確認

乳牛に異常が無いか、体調を確認しましょう。食い込み・反芻・糞の状態・ケガの有無などをよく観察し、異常がある場合は速やかに獣医師の診断を受けましょう。

体細胞数の増加がみられる場合は、獣医師と相談し、症状のひどい牛から優先順位をつけて治療を行いましょう。また、治療で抗生物質を使用した牛は必ずチェックしておきましょう。

### • 飼養管理と疾病対策

過去の長期間の停電事例では、環境性乳房炎の発生のほか、アルコール不安定乳（低酸度二等乳）の発生やケトーシスの多発なども見られました。食い込み量の低下や乳量低下などストレスを受けている牛に対しては、以下の対策を検討してみてください。

- 良質な粗飼料と新鮮な水を十分給与する
- ビートパルプなどの併給飼料を給与、増給する
- ビタミンC・E・セレンやリンカルなどのミネラル分を給与する
- アシドーシス対策に重曹給与または重曹入り鉱塩の自由採食を図る